

学校だより

R6.3.19発行

清水小学校

しみず 3月

家庭数

お世話になりました

校長

第6尋常小学校と御幸尋常小学校とが合併し、清水尋常小学校が現在地（清水町3丁目15番地）に開校されたのは、1928（昭和3）年11月3日のことです。その年を創立年とする本校は、今年度（2023（令和5）年度）、95周年を迎えました。そうした長い歴史の中で、これまで（昨年度末まで）に19,525人の卒業生が本校を巣立っていきました。

3月22日は卒業式。保護者の皆様に支えられ、地域の皆様に見守られ、豊かな自然や文化に包まれて、教職員と共に学業や運動・文化活動に励んだ6年生75人が、第95期卒業生として新たに巣立っていきます。伝統ある清水教育に学び、清水っ子としての誇りを持って多方面で活躍した子どもたちと彼らに関わってくださった全ての方に感謝するとともに、卒業生一人一人に、心からの祝福とそれぞれの未来を拓く更なる営みに対するエールを送りたいと思います。

また、3月25日は修業式です。様々なひと・もの・こととの関わりを通して、発達段階に応じた「生きる力」を学び、各学年の課程を修了する在校生一人一人の頑張りや成長を称えたいと思います。

今年度も、たくさんの方が清水小学校を支えてくださいました。本当にお世話になりました。会長様はじめ心強いPTA・保護者の皆様、館長様はじめ地域愛に満ちた頼もしい公民館関係の皆様、会長様はじめ社会福祉協議会と所長様はじめ「いきがい交流センターしみず」及び友遊しみずの温かい皆様、先輩として惜しみなく支援してくださった会長様はじめ教育会の皆様、子どもの安全・安心と健全育成に尽力してくださった交通安全協会、町内会連合会、民生・児童委員、まちづくり協議会、地域包括支援センター、自主防災組織、児童クラブ、城北・御幸交番、中央消防署ほか各種団体の皆様、慈愛あふれる学校医・歯科医の先生方、共により良い学校を志向した勝山中学校と姫山小学校の先生方、日赤成育ボランティアや読み聞かせボランティア、愛媛大学、松山大学、松山北高等学校……。枚挙にいとまがありません。たくさんの愛情によって清水教育が成り立っていることに、心から感謝申し上げます。そして何より、明るく前向きな心優しい子どもたちと教育に誠実で献身的な信頼できる教職員。それら全てが文科大臣表彰に値する学校だったと確信し、感謝しています。

これからも、清水小学校を、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。



祝95周年記念 松山市立清水小学校 全校児童集合写真（2023年撮影）

6年生を送る会 ～6年生のみなさん おかとうございました～

1年

1年生の出ばんは1ばんでとてもきんちょうしました。れんしゅうでもダンスはたくさんおどっていたので、本ばんも上手におどることができました。6年生や先生たちが「すごくよかったですよ。」とほめてくれたのでよかったです。

2年

2年生はオトナブルーをおどりました。ちょっときんちょうしたけれど、6年生がよろこんでくれてとてもうれしかったです。1年生の出しもので、「かわいくてごめん」と「ソーランぶし」をおどるなんてびっくりしました。3年生はとてもむずかしいクイズで、4年生はたいけつをしていて、すごいなと思いました。5年生は、光がとてもきれいでした。さいごに、6年生から出しものがあるなんて、びっくりしました。みんなとてもがんばっていました。

3年

私は、「卒業しても忘れないで」という思いをこめてがんばりました。私たちの発表は、みんなで「頑張ってください。」と大きな声で言っていたので、とてもよかったですと思います。私はウッドブロックの担当でした。緊張はせず上手にできました。家に帰ると、兄が「自分たちのクイズをおいといってくれてうれしかった。泣きかけたよ。」と言ってくれました。6年生が楽しんでくれて、がんばってよかったなと思いました。

4年

僕は送る会でパーフェクトチキラーを演じました。6年生は今まで朝の清掃や委員会など学校のためにたくさん頑張ってきてくれました。そんな6年生たちに最高の思い出を作ってほしいと思い、練習から一生懸命に練習に取り組みました。本番は、緊張しましたが、6年生の笑顔を見たり、歓声を聞いたりして、とても嬉しかったです。僕たちも来年から高学年の仲間入りをします。6年生のような優しく、かっこいい5年生になりたいと思います。6年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました！

5年

ぼくの役割はいろいろとあり、覚えるのが大変でした。最初はできるか心配でした。休み時間に仲間と一緒に練習しているうちに、だんだん覚えていきました。しかし、本番早口にならないか心配でした。みんなに見られると緊張するので、大丈夫かなと心配していました。でも、本番やってみると他の人たちも平気でやっているし、自分も自然にできました。出し物のライトメッセージも自分的には、うまくできたと思いました。最後のレンジャーもかまわずに言えてよかったです。来年は、清水小学校のリーダーになるので、今回の経験は、大きな一歩になる集会でした。6年生も喜んでくれて、とてもうれしかったです。来年は、最高学年になるので、プレッシャーに負けずに頑張りたいと思います。



旅立ちの今、思うこと

清水小学校に6年間通ってきて、1年生の時はいろいろと不安だったけれど、どんどん成長するにつれてできることもたくさん増えたので、よかったと思います。

6年間はあっという間だったけれど、中学校に行っても、やるべきことをしっかりと、何があってもあきらめず、中学校で頑張りたいです。

1年生のころは少なかった友達が、今ではたくさん増えました。たくさん助け合ったけれど、その友達の中には、違う中学校に進学する人もいて、少しさみしいです。清水小学校で過ごしてきたこの6年間は、長いようで短くて、もう卒業だと思うと少しびっくりです。

中学校は楽しみだけど、とても緊張します。勉強はこれまで通り、真面目に頑張りたいです。春休みの間に、しっかり復習をして中学校生活に備えたいです。

私たちはあと少しで清水小学校を卒業します。今までいろいろなことを教えてくれた先生方、一緒に遊んでくれた友達、しみずの方、他学年、そしていつも協力して支え合ってきた仲間には、感謝の気持ちでいっぱいです。卒業するのはとても悲しいけれど、在校生にみんなで協力して支え合い、私たちが卒業していなくなっても、すてきな学校、伝統を守って、次の代にもその次の代にも引き継いでいってほしいなと思います。

中学生になったら、分かれてしまう友達もいるし、勉強も難しくなったりする不安もあるけど、その気持ちに打ち勝つほどに友達を作って、楽しみたいです。

3年間という短い期間だけれど、たくさんの思い出を作れるような中学校生活にしたいです。



6年間過ごしてきた場所を離れるとなるとすごく寂しい気持ちになります。卒業するのは嫌だな、と思うこともあります。大好きな下級生、先生達、地域の方々やいきがい交流センターの方にもう会えないのかと思うと複雑です。だからこそ、残りわずかな日々を悔いの無いように過ごし、中学校での新しいスタートが良いものになるよう頑張りたいです。

友達と離れることを思うと、涙が出そうになります。小学校生活の締めくくりである卒業式では、卒業生としての自覚を持ち、下級生や家の人に立派な姿を見てもらい、感動を届けたいと思います。中学校では、新しい出会いがたくさん待っているので楽しみに思っています。

毎日、卒業カレンダーを見ては「このクラスで過ごせるのもあともう少しか・・・。」と寂しい気持ちになります。最後はみんなで笑って思い出を作りたいです。6年間、たくさんの人にお世話になったことを心に浮かべ、有終の美を飾れるようにしたいです。

小学校6年間の内、2年間で清水小学校で過ごしました。仲間との思い出を作った自然の家や修学旅行は本当に楽しかったです。清水小学校に来ることができて、本当に良かったと思っています。小学校を卒業するのは心配もあるけれど、中学校でも元気にがんばりたいです。

